

青森県地域公共交通計画 変更箇所一覧

令和 8 年 6 月変更箇所

頁数	項目	新	旧	変更理由
90	(1)地域公共交通ネットワークの将来像（イメージ図）	地域間連携軸②から高野線を削除		令和 7 年 9 月 30 日をもって運行が終了したため
93	東青圏域の地域公共交通ネットワーク図 路線名	路線名から「高野線（弘南バス）」を削除		同上
94	表 軸・拠点の位置づけ等 路線名	路線名から「高野線（弘南バス）」を削除		同上
95	中南圏域の地域公共交通ネットワーク図 路線名	路線名から「高野線（弘南バス）」を削除		同上
96	表 軸・拠点の位置づけ等 路線名	路線名から「高野線（弘南バス）」を削除		同上
97	三八圏域の地域公共交通ネットワーク図 路線名及び運行主体	八戸大野線（八戸市）	大野線（岩手県北自動車）	名称及び運行主体が変更になったため
98	表 軸・拠点の位置づけ等 路線名及び運行主体	八戸大野線（八戸市）	大野線（岩手県北自動車）	同上

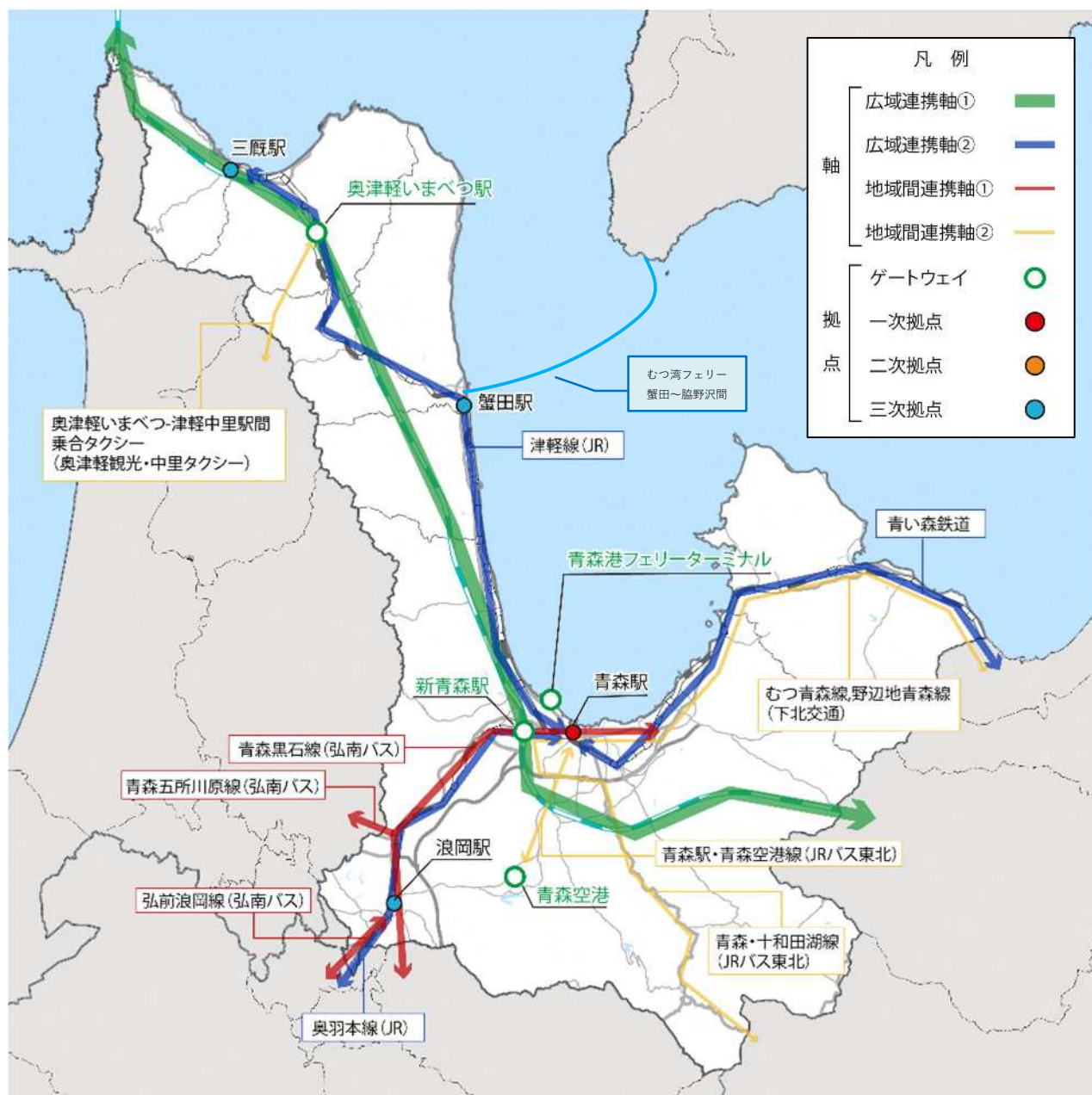
【P.90(新)】県全体



【P.90(旧)】県全体



【P.93(新)】東青圏域



※広域連携軸①：新幹線

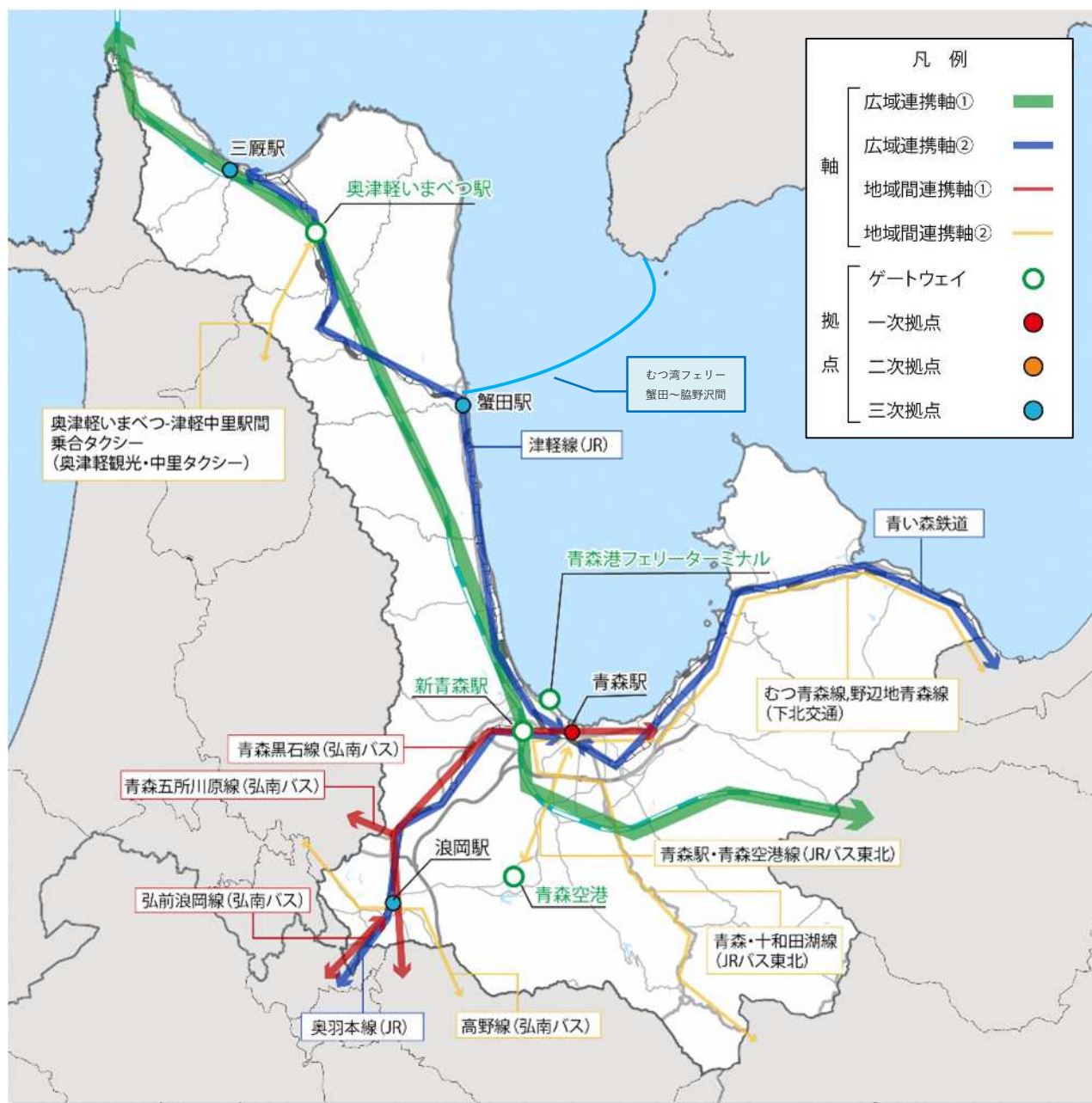
広域連携軸②：JR 在来線、青い森鉄道、民間鉄道

地域間連携軸①：広域路線バス（幹線）

地域間連携軸②：広域路線バス（幹線以外）

※航路については、生活航路、または、県内の各圏域を結んでいる航路を記載している。

【P.93(旧)】東青圏域



※広域連携軸①：新幹線

広域連携軸②：JR 在来線、青い森鉄道、民間鉄道

地域間連携軸①：広域路線バス（幹線）

地域間連携軸②：広域路線バス（幹線以外）

※航路については、生活航路、または、県内の各圏域を結んでいる航路を記載している。

【P.94(新)】東青圏域

表 軸・拠点の位置づけ等

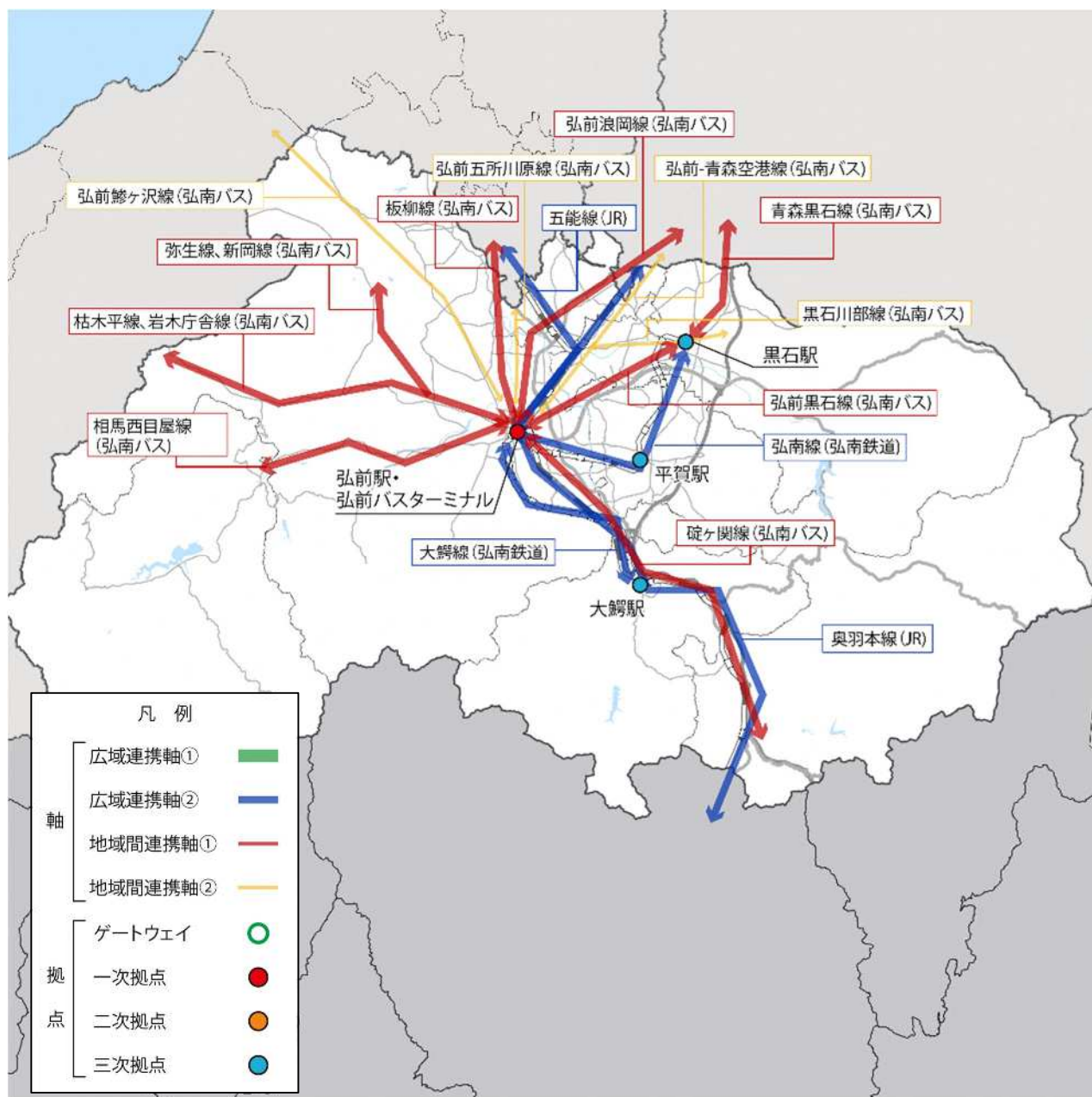
大区分	小区分	位置づけ	具体的な路線名・拠点名
軸	広域 連携軸① (緑線)	○本県と他県など、県を跨いだ広域的な移動・連携を支える軸 ○様々な交流の基盤となり、本県の活性化を促す重要な役割を持つため、将来的にも維持を図る	・北海道新幹線（北海道旅客鉄道） ・東北新幹線（東日本旅客鉄道）
	広域 連携軸② (青線)	○隣接する県や市町村間の広域的な移動・連携を支える軸 ○市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る	・奥羽本線、津軽線（東日本旅客鉄道） ・青い森鉄道
	地域間 連携軸① (赤線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える広域性・幹線性の高い重要な軸 ○広域連携軸②と同様、市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る ○一定の利便性（サービス水準）を確保	・青森黒石線、青森五所川原線、弘前浪岡線（弘南バス）
	地域間 連携軸② (橙線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える、地域間連携軸①に次いで重要な軸 ○市町村内の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、事業性や地域の意向等を踏まえて適切に維持	・むつ青森線、野辺地青森線（下北交通） ・青森・十和田湖線、 <u>青森駅 - 青森空港線</u> （JR バス東北） ・奥津軽いまべつ - 津軽中里駅間乗合タクシー（奥津軽観光・中里タクシー）
拠点	ゲート ウェイ (緑●)	○県の地域公共交通ネットワークにおいて中枢となる拠点 ○広域連携軸と地域間連携軸の一体性を高める役割を持つため、拠点性の更なる向上を図る	・青森空港 ・青森港フェリーターミナル ・新青森駅、奥津軽いまべつ駅
	一次拠点 (赤●)	○県内の中でも特に利用者が多く、生活・ビジネス・観光などの多様な目的の中心となり、市町村間の移動を支える拠点	・青森駅
	二次拠点 (橙●)	○各圏域の中での中心的な拠点であり、一次拠点に次いで市町村間の移動を支える拠点	※該当なし
	三次拠点 (青●)	○各圏域において、広域的な地域公共交通ネットワークと、域内を運行する地域公共交通ネットワークの接続する要所となる拠点	・浪岡駅、蟹田駅、三厩駅

【P.94(旧)】東青圏域

表 軸・拠点の位置づけ等

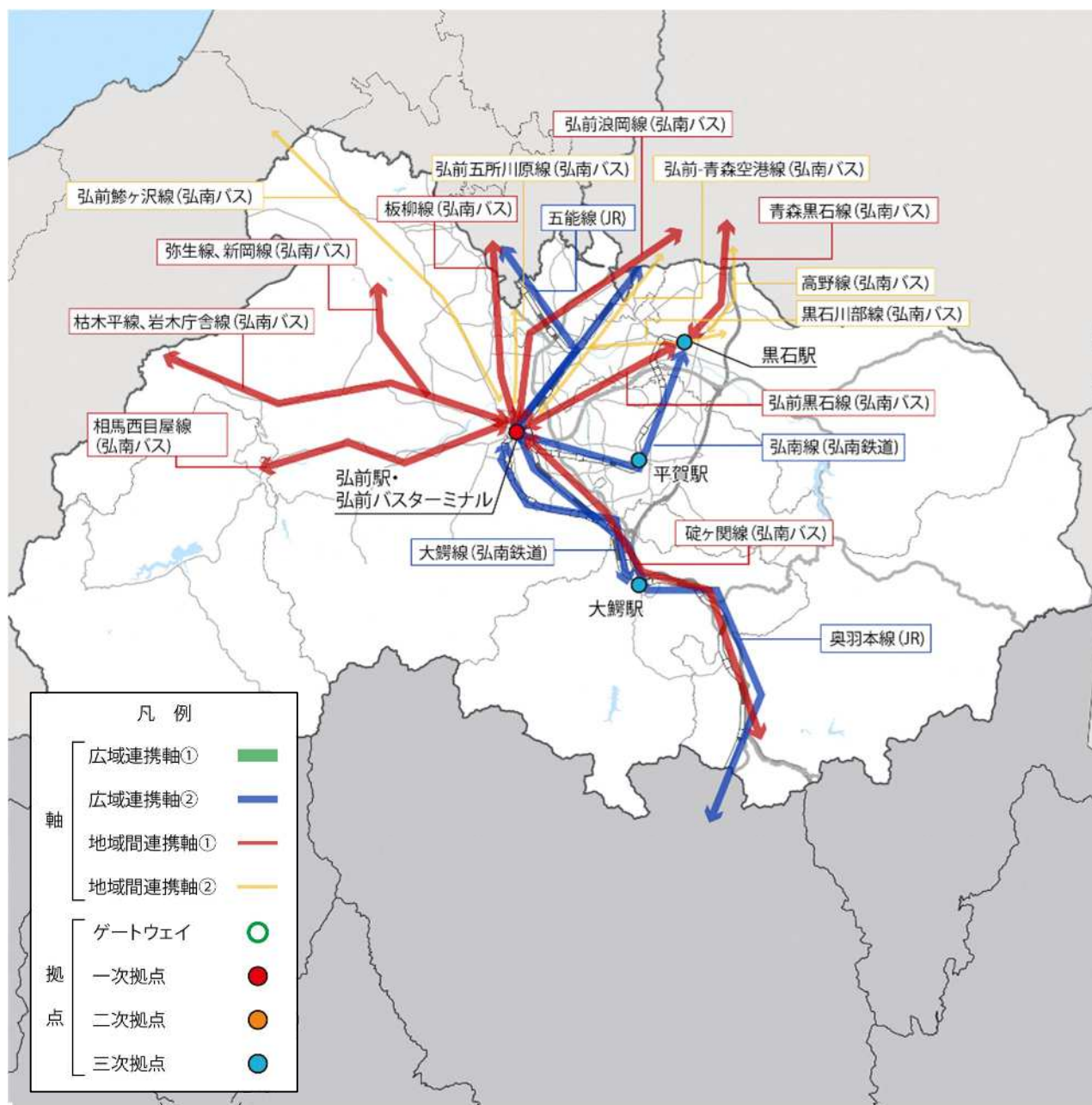
大区分	小区分	位置づけ	具体的な路線名・拠点名
軸	広域 連携軸① (緑線)	○本県と他県など、県を跨いだ広域的な移動・連携を支える軸 ○様々な交流の基盤となり、本県の活性化を促す重要な役割を持つため、将来的にも維持を図る	・北海道新幹線（北海道旅客鉄道） ・東北新幹線（東日本旅客鉄道）
	広域 連携軸② (青線)	○隣接する県や市町村間の広域的な移動・連携を支える軸 ○市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る	・奥羽本線、津軽線（東日本旅客鉄道） ・青い森鉄道
	地域間 連携軸① (赤線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える広域性・幹線性の高い重要な軸 ○広域連携軸②と同様、市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る ○一定の利便性（サービス水準）を確保	・青森黒石線、青森五所川原線、弘前浪岡線（弘南バス）
	地域間 連携軸② (橙線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える、地域間連携軸①に次いで重要な軸 ○市町村内の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、事業性や地域の意向等を踏まえて適切に維持	・むつ青森線、野辺地青森線（下北交通） ・青森・十和田湖線、<u>青森駅 - 青森空港線</u>（JR バス東北） ・高野線、青森駅 - 青森空港線（<u>弘南バス弘南バス</u>） ・奥津軽いまべつ - 津軽中里駅間乗合タクシー（奥津軽観光・中里タクシー）
拠点	ゲート ウェイ (緑●)	○県の地域公共交通ネットワークにおいて中枢となる拠点 ○広域連携軸と地域間連携軸の一体性を高める役割を持つため、拠点性の更なる向上を図る	・青森空港 ・青森港フェリーターミナル ・新青森駅、奥津軽いまべつ駅
	一次拠点 (赤●)	○県内の中でも特に利用者が多く、生活・ビジネス・観光などの多様な目的の中心となり、市町村間の移動を支える拠点	・青森駅
	二次拠点 (橙●)	○各圏域の中での中心的な拠点であり、一次拠点に次いで市町村間の移動を支える拠点	※該当なし
	三次拠点 (青●)	○各圏域において、広域的な地域公共交通ネットワークと、域内を運行する地域公共交通ネットワークの接続する要所となる拠点	・浪岡駅、蟹田駅、三厩駅

【P.95(新)】中南圏域



- ※広域連携軸①：新幹線
 広域連携軸②：JR 在来線、青い森鉄道、民間鉄道
 地域間連携軸①：広域路線バス（幹線）
 地域間連携軸②：広域路線バス（幹線以外）

【P.95(旧)】中南圏域



※広域連携軸①：新幹線
 広域連携軸②：JR 在来線、青い森鉄道、民間鉄道
 地域間連携軸①：広域路線バス（幹線）
 地域間連携軸②：広域路線バス（幹線以外）

【P.96(新)】中南圏域

表 軸・拠点の位置づけ等

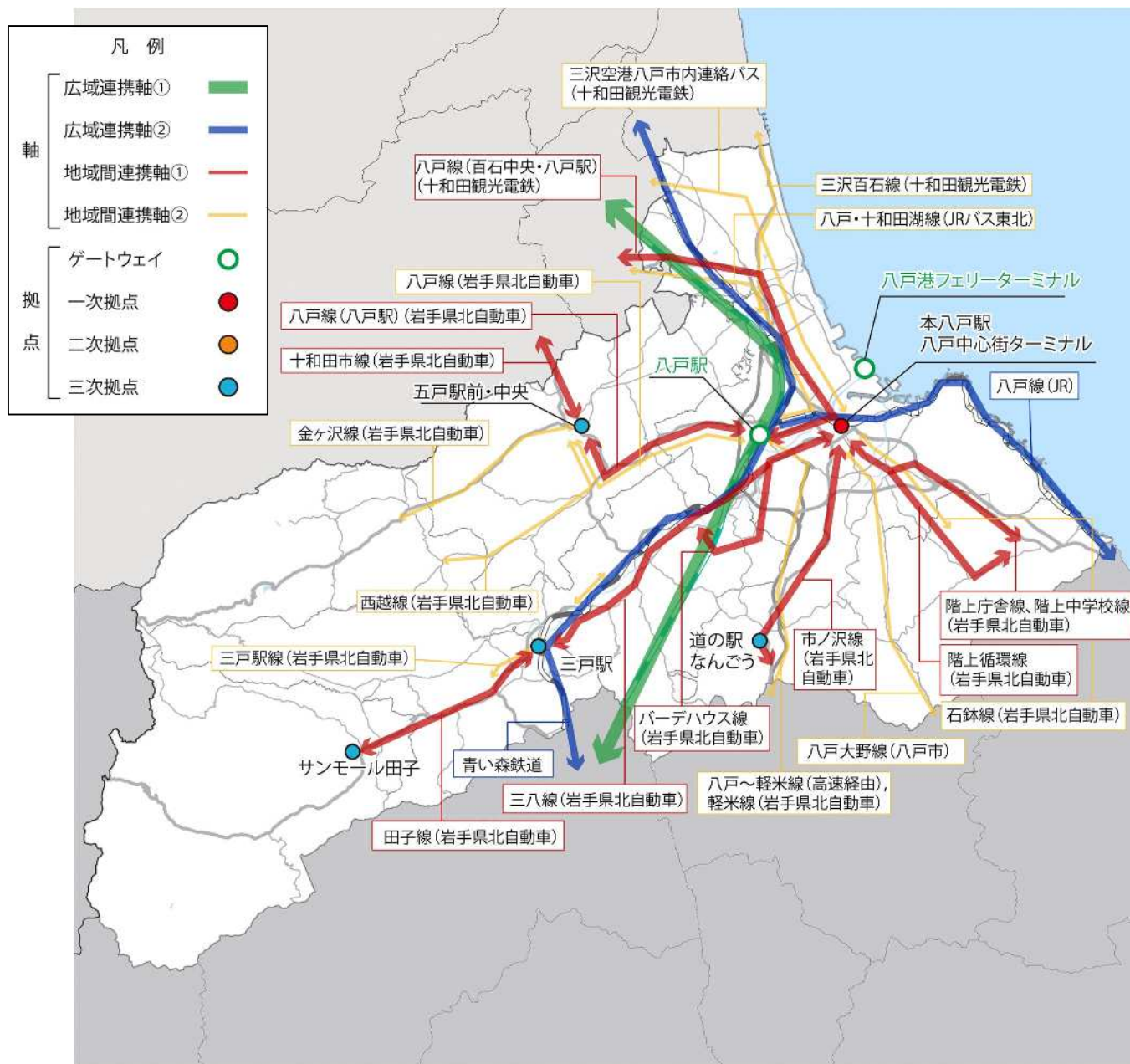
大区分	小区分	位置づけ	具体的な路線名・拠点名
軸	広域 連携軸① (緑線)	○本県と他県など、県を跨いだ広域的な移動・連携を支える軸 ○様々な交流の基盤となり、本県の活性化を促す重要な役割を持つため、将来的にも維持を図る	※該当なし
	広域 連携軸② (青線)	○隣接する県や市町村間の広域的な移動・連携を支える軸 ○市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る	・奥羽本線、五能線（東日本旅客鉄道） ・津軽鉄道 ・大鰐線、弘南線（弘南鉄道）
	地域間 連携軸① (赤線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える広域性・幹線性の高い重要な軸 ○広域連携軸②と同様、市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る ○一定の利便性（サービス水準）を確保	・碓ヶ関線、相馬西目屋線、 枯木平線、岩木庁舎線、弥生線、新岡線、板柳線、弘前黒石線、青森黒石線（弘南バス）
	地域間 連携軸② (橙線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える、地域間連携軸①に次いで重要な軸 ○市町村内の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、事業性や地域の意向等を踏まえて適切に維持	・弘前鰯ヶ沢線、弘前五所川原線、弘前 - 青森空港線、黒石川部州辺線黒商（弘南バス）
拠点	ゲートウェイ (緑●)	○県の地域公共交通ネットワークにおいて中枢となる拠点 ○広域連携軸と地域間連携軸の一体性を高める役割を持つため、拠点性の更なる向上を図る	※該当なし
	一次拠点 (赤●)	○県内の中でも特に利用者が多く、生活・ビジネス・観光などの多様な目的の中心となり、市町村間の移動を支える拠点	・弘前駅/弘前バスターミナル
	二次拠点 (橙●)	○各圏域の中での中心的な拠点であり、一次拠点に次いで市町村間の移動を支える拠点	※該当なし
	三次拠点 (青●)	○各圏域において、広域的な地域公共交通ネットワークと、域内を運行する地域公共交通ネットワークの接続する要所となる拠点	・黒石駅、平賀駅、大鰐駅

【P.96(旧)】中南圏域

表 軸・拠点の位置づけ等

大区分	小区分	位置づけ	具体的な路線名・拠点名
軸	広域 連携軸① (緑線)	○本県と他県など、県を跨いだ広域的な移動・連携を支える軸 ○様々な交流の基盤となり、本県の活性化を促す重要な役割を持つため、将来的にも維持を図る	※該当なし
	広域 連携軸② (青線)	○隣接する県や市町村間の広域的な移動・連携を支える軸 ○市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る	・奥羽本線、五能線（東日本旅客鉄道） ・津軽鉄道 ・大鰐線、弘南線（弘南鉄道）
	地域間 連携軸① (赤線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える広域性・幹線性の高い重要な軸 ○広域連携軸②と同様、市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る ○一定の利便性（サービス水準）を確保	・碓ヶ関線、相馬西目屋線、枯木平線、岩木庁舎線、弥生線、新岡線、板柳線、弘前黒石線、青森黒石線（弘南バス）
	地域間 連携軸② (橙線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える、地域間連携軸①に次いで重要な軸 ○市町村内の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、事業性や地域の意向等を踏まえて適切に維持	・弘前鰯ヶ沢線、弘前五所川原線、弘前 - 青森空港線、黒石川部州辺線、 黒高州辺線 、高野線（弘南バス）
拠点	ゲート ウェイ (緑●)	○県の地域公共交通ネットワークにおいて中枢となる拠点 ○広域連携軸と地域間連携軸の一体性を高める役割を持つため、拠点性の更なる向上を図る	※該当なし
	一次拠点 (赤●)	○県内の中でも特に利用者が多く、生活・ビジネス・観光などの多様な目的の中心となり、市町村間の移動を支える拠点	・弘前駅/弘前バスターミナル
	二次拠点 (橙●)	○各圏域の中での中心的な拠点であり、一次拠点に次いで市町村間の移動を支える拠点	※該当なし
	三次拠点 (青●)	○各圏域において、広域的な地域公共交通ネットワークと、域内を運行する地域公共交通ネットワークの接続する要所となる拠点	・黒石駅、平賀駅、大鰐駅

【P.97(新)】三八圏域



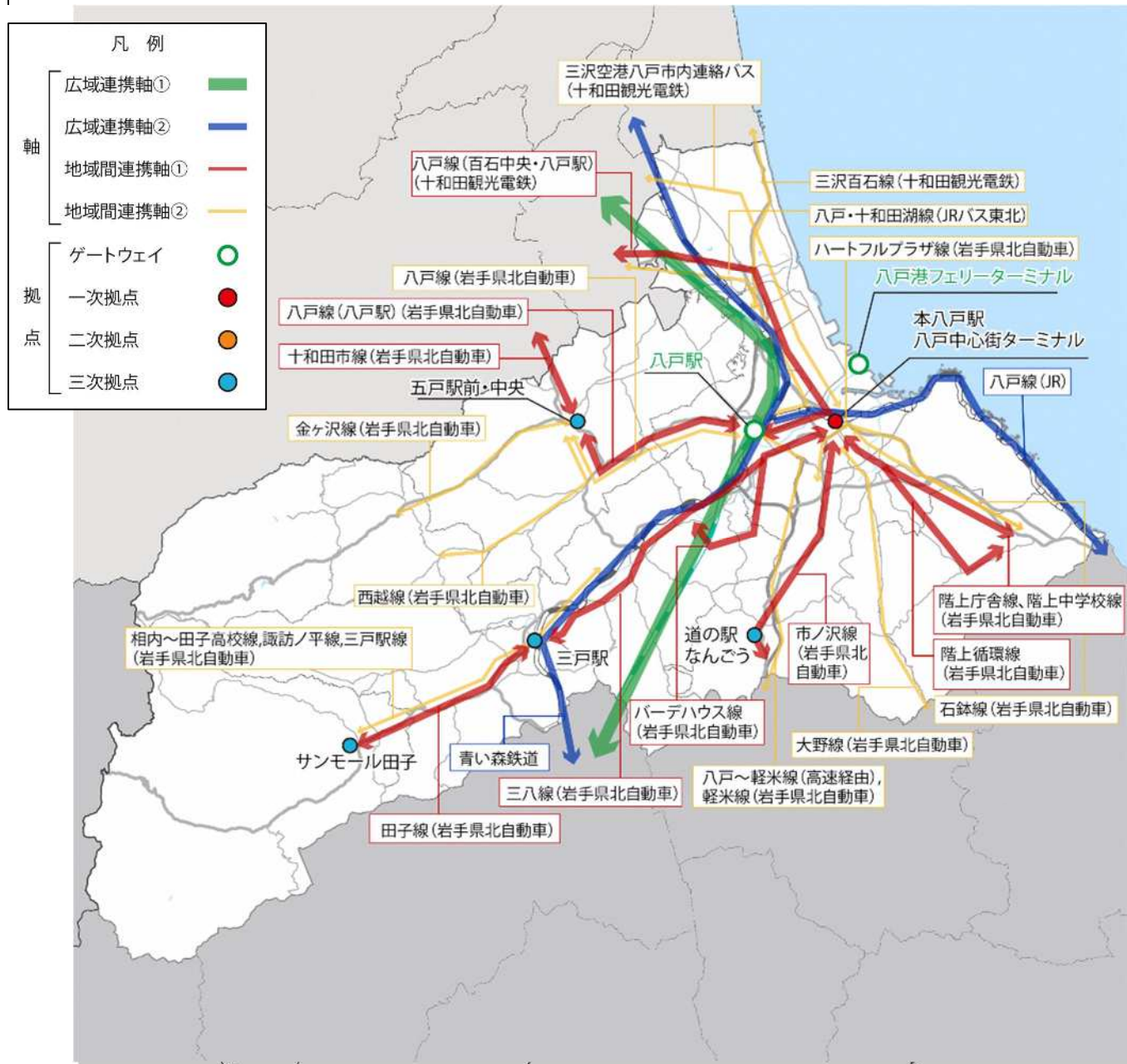
※広域連携軸①：新幹線

広域連携軸②：JR 在来線、青い森鉄道、民間鉄道

地域間連携軸①：広域路線バス（幹線）

地域間連携軸②：広域路線バス（幹線以外）

【P.97(旧)】三八圏域



※広域連携軸①：新幹線
 広域連携軸②：JR 在来線、青い森鉄道、民間鉄道
 地域間連携軸①：広域路線バス（幹線）
 地域間連携軸②：広域路線バス（幹線以外）

【P.98(新)】三八圏域

表 軸・拠点の位置づけ等

大区分	小区分	位置づけ	具体的な路線名・拠点名
軸	広域 連携軸① (緑線)	○本県と他県など、県を跨いだ広域的な移動・連携を支える軸 ○様々な交流の基盤となり、本県の活性化を促す重要な役割を持つため、将来的にも維持を図る	・東北新幹線（東日本旅客鉄道）
	広域 連携軸② (青線)	○隣接する県や市町村間の広域的な移動・連携を支える軸 ○市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る	・八戸線（東日本旅客鉄道） ・青い森鉄道
	地域間 連携軸① (赤線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える広域性・幹線性の高い重要な軸 ○広域連携軸②と同様、市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る ○一定の利便性（サービス水準）を確保	・階上庁舎線、市ノ沢線、八戸線、三八線、 <u>バーデハウス</u> 苦米地駅通り 線、階上循環、田子線、階上中学校線、十和田市線（岩手県北自動車） ・八戸線（十和田観光電鉄）
	地域間 連携軸② (橙線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える、地域間連携軸①に次いで重要な軸 ○市町村内の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、事業性や地域の意向等を踏まえて適切に維持	・金ヶ沢線、西越線、八戸線、三戸駅線、八戸～軽米線、石鉢線（岩手県北自動車） ・三沢百石線、三沢空港八戸市内連絡バス（十和田観光電鉄） ・八戸・十和田湖線（JRバス東北） ・八戸大野線（八戸市）
拠点	ゲート ウェイ (緑●)	○県の地域公共交通ネットワークにおいて中枢となる拠点 ○広域連携軸と地域間連携軸の一体性を高める役割を持つため、拠点性の更なる向上を図る	・八戸港フェリーターミナル ・八戸駅
	一次拠点 (赤●)	○県内の中でも特に利用者が多く、生活・ビジネス・観光などの多様な目的の中心となり、市町村間の移動を支える拠点	・本八戸駅/八戸中心街ターミナル
	二次拠点 (橙●)	○各圏域の中での中心的な拠点であり、一次拠点に次いで市町村間の移動を支える拠点	※該当なし
	三次拠点 (青●)	○各圏域において、広域的な地域公共交通ネットワークと、域内を運行する地域公共交通ネットワークの接続する要所となる拠点	・五戸駅前、サンモール田子、三戸駅、道の駅なんごう

【P.98(旧)】三八圏域

表 軸・拠点の位置づけ等

大区分	小区分	位置づけ	具体的な路線名・拠点名
軸	広域 連携軸① (緑線)	○本県と他県など、県を跨いだ広域的な移動・連携を支える軸 ○様々な交流の基盤となり、本県の活性化を促す重要な役割を持つため、将来的にも維持を図る	・東北新幹線（東日本旅客鉄道）
	広域 連携軸② (青線)	○隣接する県や市町村間の広域的な移動・連携を支える軸 ○市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る	・八戸線（東日本旅客鉄道） ・青い森鉄道
	地域間 連携軸① (赤線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える広域性・幹線性の高い重要な軸 ○広域連携軸②と同様、市町村間の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る ○一定の利便性（サービス水準）を確保	・階上庁舎線、市ノ沢線、八戸線、三八線、 <u>バーデハウス</u> 苦米地駅通り 線、階上循環、田子線、階上中学校線、十和田市線（岩手県北自動車） ・八戸線（十和田観光電鉄）
	地域間 連携軸② (橙線)	○市町村間の広域的な移動・連携を支える、地域間連携軸①に次いで重要な軸 ○市町村内の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、事業性や地域の意向等を踏まえて適切に維持	・金ヶ沢線、西越線、八戸線、相内～田子高校線、諏訪ノ平線、三戸駅線、八戸～軽米線、大野線、石鉢線、ハートフルプラザ線（岩手県北自動車） ・三沢百石線、三沢空港八戸市内連絡バス（十和田観光電鉄） ・八戸・十和田湖線（JRバス東北）
拠点	ゲート ウェイ (緑●)	○県の地域公共交通ネットワークにおいて中枢となる拠点 ○広域連携軸と地域間連携軸の一体性を高める役割を持つため、拠点性の更なる向上を図る	・八戸港フェリーターミナル ・八戸駅
	一次拠点 (赤●)	○県内の中でも特に利用者が多く、生活・ビジネス・観光などの多様な目的の中心となり、市町村間の移動を支える拠点	・本八戸駅/八戸中心街ターミナル
	二次拠点 (橙●)	○各圏域の中での中心的な拠点であり、一次拠点に次いで市町村間の移動を支える拠点	※該当なし
	三次拠点 (青●)	○各圏域において、広域的な地域公共交通ネットワークと、域内を運行する地域公共交通ネットワークの接続する要所となる拠点	・五戸駅前、サンモール田子、三戸駅、道の駅なんごう